

A-ROUND

2023
AUTUMN

TOURIST
GUIDE BOOK

まちの物語を
TOKYO DEEP CULTURE
拾い集める。

SARY EDITION

ASAKUSA-OKUASAKUSA

A-ROUND IS A LEATHER & CRAFT FESTIVAL

LEATHER & CRAFT / HISTORY / FOOD / ART

浅草で靴づくりが始まって150年。

革とモノづくりの祭典 浅草エーラウンドが始まって10年。

積み重ねてきたまちのちからと、これからの広がり。

ASAKUSA NOW & THEN

浅草のものづくりのこれからを考える



奥浅草へ。
ようこそ、

SNAP=エールラウンド2023秋 ツーリストインフォメーション

PROLOGUE

なんだかドキドキする あんまり知られていない 浅草の奥のほうの話。

山田 裕一

A-ROUND2023 SEASON DIRECTOR

浅草エーラウンドの舞台の中心は、奥浅草と呼ばれるエリアです。

浅草と聞いてみんなが思い浮かべるあれやこれやのちょっと北側。

静かで寡黙だけど、知れば知るほどハマってしまう中毒性の高い地域です。

この地域、ちょっと歩くと靴や革関係の会社ばかりということに気がつきます。

それもそのはず。この地域の革靴の生産量は日本トップレベル。

150年の歴史があり、今も昔もたくさんの人が靴をつくり続けています。

歴史といえば、歴史マニア垂涎のエピソードもこの地域にはわんさかあり

隆盛を極めた吉原遊郭や世界に影響を与えた葛飾北斎の終焉の地もこのエリアです。

そんな重厚な歴史を持つ奥浅草ですが、

近年では、クリエイターが集まり始めるようになり

歴史と文化と創造性が複雑に絡み合って面白いことが起きています。

浅草エーラウンドは、そんな魅力たっぷりの奥浅草の

ふだんは入れない場所に入れたり、話を聞けない人に話が聞けたりする、

いわばまちのオープンキャンパスのような機会です。

人や場所、あちこちに散らばる物語を拾い集めて、楽しんでみてください。

なんだかドキドキする、浅草の奥のほうの話。

CONTENTS

04 プロローグ

06 A-ROUNDとは

08 エーラウンドの歩き方

今回の大きな見どころのひとつでもあるイベント情報や
そのタイムスケジュールが一覧となって掲載されています。

10 会場エリアマップ

A-ROUND2023秋に参加するプレイヤーたちの出店場所や
浅草の土地のアイコン的なスポットが掲載されています。

12 出店者一覧

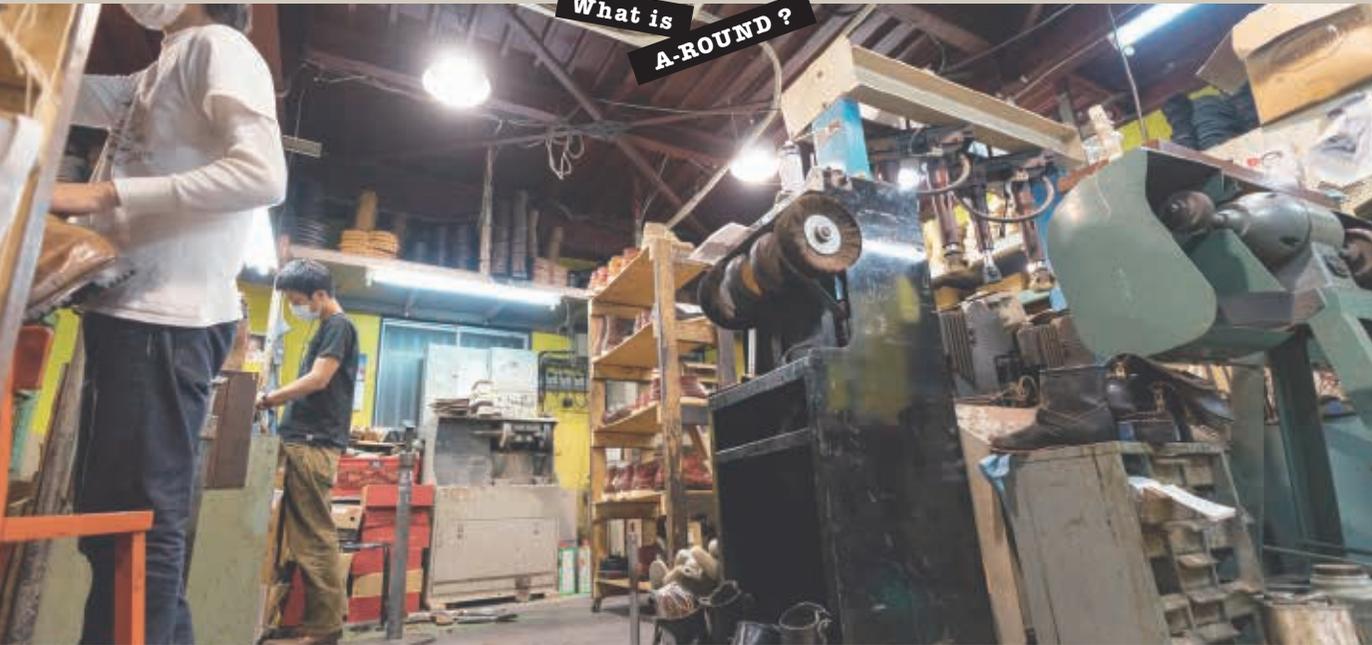
18 特別対談インタビュー

ASAKUSA NOW & THEN

浅草のこれからのものづくりについて対談していただきました。

21 奥浅草 NEW WAVES

What is
A-ROUND?



A-ROUND IS A LEATHER & CRAFT FESTIVAL

150年続く革靴の生産地であるという浅草の意外な一面を、楽しみながら知ってほしい。

浅草エーラウンドは、工房や地域のお店のみなさんの、こうした思いから始まったイベントです。

観光地・浅草の奥座敷、革靴の生産出荷額日本トップレベルの「革のまち」である奥浅草エリアを中心に、

普段は非公開の革靴づくりの現場などをめぐり、モノづくりのDNAが息づくまちの魅力を伝えます。

エーラウンドに
参加したら
01



地図を頼りに
「まちなかスポット」を訪ねてみよう。

浅草エーラウンド2023秋では約40のまちなかスポットが outlet しています。革とモノづくりの担い手たち、料理人、アーティストたちがいろいろな技術や作品を見せてくれます。エリア内は広いので、バスやレンタル自転車等を使うと便利です。歩き疲れたら、すぐに水分補給や休憩を。

エーラウンドに
参加したら
02



話を聞いたり、
ワークショップに参加してみよう。

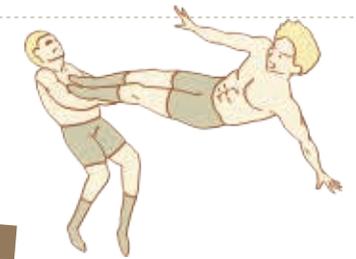
エーラウンドで見られるものの中には、ひと目見ただけではその魅力の一端しか感じられないものが少なくありません。その背景のストーリーや疑問に思ったことはぜひ出店者のみなさんに聞いてみてください。ワークショップを行っているスポットもあるので、参加してみるとまたさらに深い世界が覗けるかもしれません。

エーラウンドエリアに 散らばる小噺たち

浅草エーラウンド2023のエリアには、
いろいろな文化・歴史的なエピソードが転がっています。
ここでは、そのほんの一部を紹介しますので、自分の好奇心を頼りに
ほかにも面白いことがないか探してみてください。



A-ROUND
STORY 1



猪木・馬場のデビュー戦の地

現在、台東区リバーサイドスポーツセンターがある場所にはかつて「台東体育館」という建物がありました。特にプロレスの興行で盛り上がり、かの有名なジャイアント馬場やアントニオ猪木も1960年9月30日にここからデビューを果たしています。

A-ROUND
STORY 2



吉原遊郭跡地のS字カーブ

江戸時代よりいろいろな文化の発信地となった吉原の入口は、不自然にS字カーブを描いています。これは將軍や大名が街道を通る際、遊郭を見渡せないようにするための配慮だそうです。現在では吉原という地名はなくなり、千束4丁目と呼ばれるようになりました。

A-ROUND
STORY 3



大根だらけのお寺!?

境内に入ると、いろいろなところに大根の文様やお供え物がある待乳山聖天。お寺の本堂で聖天様に大根をお供えすれば、どんなお願いも叶えてくれるそう。近くの「ごはん×カフェ madei」では、待乳山聖天の大根にちなんだ料理も楽しめます。

A-ROUND COLUMN

かつてのドヤ街に世界中からゲストが集まるように

奥浅草の北東部はかつて「山谷」と呼ばれていたエリアです。日雇い労働者たちが多く暮らしていたまちであり、その方々が主に利用していた簡易宿泊所(通称:ドヤ)が今も多く残っています。時代は流れ現在では、海外から

訪れるバックパッカーが多く泊まりに来るようなまちになりました。エーラウンドに outlet している「さんやカフェ」は簡易宿泊所「寿陽」の中にあるスポットです。ひよっとしたら滞在中のゲストに会えるかもしれませんね。

エーラウンドの歩き方

How to walk A-ROUND.

浅草をより味わえるとびきりのイベントを、今回も多数ご用意。

美しい革製品が出来上がるのを目近に見たり、和菓子づくりで伝統の技を体験したり、まちを散策しながら歴史に思いを馳せたり…。浅草のさらにディープな魅力が見つかるかもしれません。



各ツアーのご予約や、タイムスケジュール等の詳細情報はこちらから。

EVENT TIME SCHEDULE

10.20 Fri.

09:30 **ツアー**

「命のめぐみ
『革ってどうやってできるの』見学ツアー」
※見学場所の都合により、
イベント開催より早い時間に設定されております。

10:00 「エーラウンド2023秋」スタート

10:00 「レザークエスト」開始

10:00 **展示**

「Thinking Leather Action /
シンキングレザーアクション展示」開始

10.21 Sat.

13:00 **ツアー**

「江戸時代だけじゃない！
歴史を感じる奥浅草めぐりツアー」

14:20 **ツアー**

「大人も子どもも楽しめる！
名店『徳太楼』和菓子づくり体験ツアー」

10.22 Sun.

13:30 **トークショー**

「マザーハウス代表・山崎大祐氏と学ぶ
『モノづくりビジネスのリアル
～簡単じゃない時代にヒントを見つける～』

17:00 「エーラウンド2023秋」終了

レザークエスト

LEATHER QUEST

スポットをめぐって
革紐を集めよう！



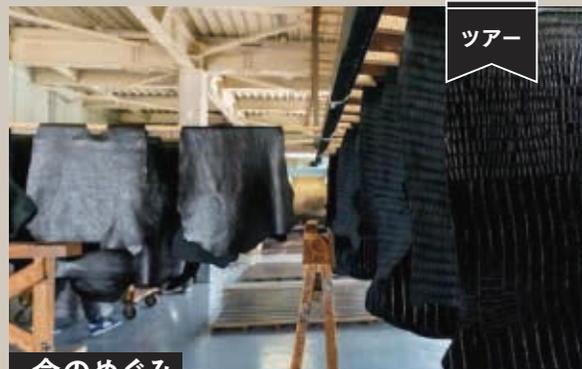
10月20日(金)～10月22日(日)

📍 エーラウンドエリア内まちなかスポット

担当 すべての出店者

参加費 無料 定員 なし(なくなり次第終了)

ま ちなかスポットでは1カ所につき「革紐」を1人1本お配りします。もらった革紐は手に巻いてもいいですし、何かかつなげて首から下げてもOK。スポットの職人さんたちにアレンジ方法を相談してもいいですし、楽しみ方は自由自在です。たくさん集めて革とモノづくりのまちの雰囲気をご存分に味わってください。



ツアー

命のめぐみ

「革ってどうやってできるの」見学ツアー

10月20日(金) 09:30開始(所要時間3時間)

📍 東京都立皮革技術センター(東墨田3-3-14)

担当 長坂守康氏

参加費 1,500円

定員 10人(先着順・予約優先)

材 料の調達からなめし、仕上げ加工まで、全てが日本国内で行える豚革。その中心地ともいえる東京墨田区八広・東墨田の皮革技術センターで、「革のなめし」を見学できます。革のスペシャリストの工場で、ダイナミックな革の世界に触れ、より身近にメイドイン東京の革を感じてください。



展示

Thinking Leather Action / シンキングレザーアクション展示

10月20日(金)～22日(日) 10:00～17:00(予約不要)

📍 富田興業株式会社2階(台東区今戸1-3-12)

参加費 無料

T hinking Leather Actionとは、皮革・革製品などのサステナビリティを発信していくプロジェクトです。皮革・革製品を扱う24団体から成り立つ日本最大の総合団体である(一社)日本皮革産業連合会(JLIA)が主導で行っています。



ツアー

大人も子どもも楽しめる！

名店「徳太楼」和菓子づくり体験ツアー

10月21日(土) 14:20開始(所要時間2.5時間)

📍 SNAP(台東区今戸1-2-10)

担当 嶋村真佐子氏

参加費 1,500円(小学生未満1,000円)

定員 6人(先着順・予約優先)

奥 浅草はグルメスポットと歴史のまちでもあります。まちめぐりをして、老舗和菓子店「徳太楼」で「ねりきり」三種の手づくり体験ができるワークショップに参加するツアーです。秋らしい「ねりきり」をご主人が丁寧に教えてください。あんこを包む秘伝の技や和菓子の文化を味わうことができるツアーです。

トーク
ショー

TLFリーダーズセッション
マザーハウス代表・山崎大祐氏と学ぶ

モノづくりビジネスのリアル

～簡単じゃない時代にヒントを見つける～

10月22日(日)
13:30開始(所要時間1.5時間)

📍 SNAP(台東区今戸1-2-10)

参加費 無料

定員 30人

(先着順・予約優先)

「TLFリーダーズセッション」のみ、
こちらからご予約いただけます。



山 崎大祐氏プロフィール:1980年、東京都生まれ。2003年慶應義塾大学総合政策学部卒業、卒業後にゴールドマン・サックス証券にエコノミストとして入社し、日本及びアジア経済を担当。07年3月に退職し、「途上国から世界に通用するブランドをつくる」という理念のもと、ファッションブランドを展開する株式会社マザーハウスを同社代表・山口絵理子と共に創業、08年6月に同社副社長に就任。19年3月から、同社代表取締役副社長に。23年7月現在、マザーハウスは9カ国で生産・販売拠点をもち、約800人のスタッフが働くファッションブランドに成長している。



ツアー

江戸時代だけじゃない！

歴史を感じる奥浅草めぐりツアー

10月21日(土) 13:00開始(所要時間2.5時間)

📍 SNAP(台東区今戸1-2-10)

担当 柴田政男氏 帯同 富田常一氏

参加費 1,500円(途中実費で喫茶する可能性あり。)

定員 8人(先着順・予約優先)

工 ーラウンドのエリアを鎌倉～室町時代、江戸～明治時代(徳川政権下)、明治～大正時代(近代工業化時代)の3つの時代に分けて探索するツアーです。江戸時代が注目されがちな奥浅草が中世・近代ではどんな時代を過ごしてきたのか、奥浅草・今戸出身の歴史研究家の方とめぐります。

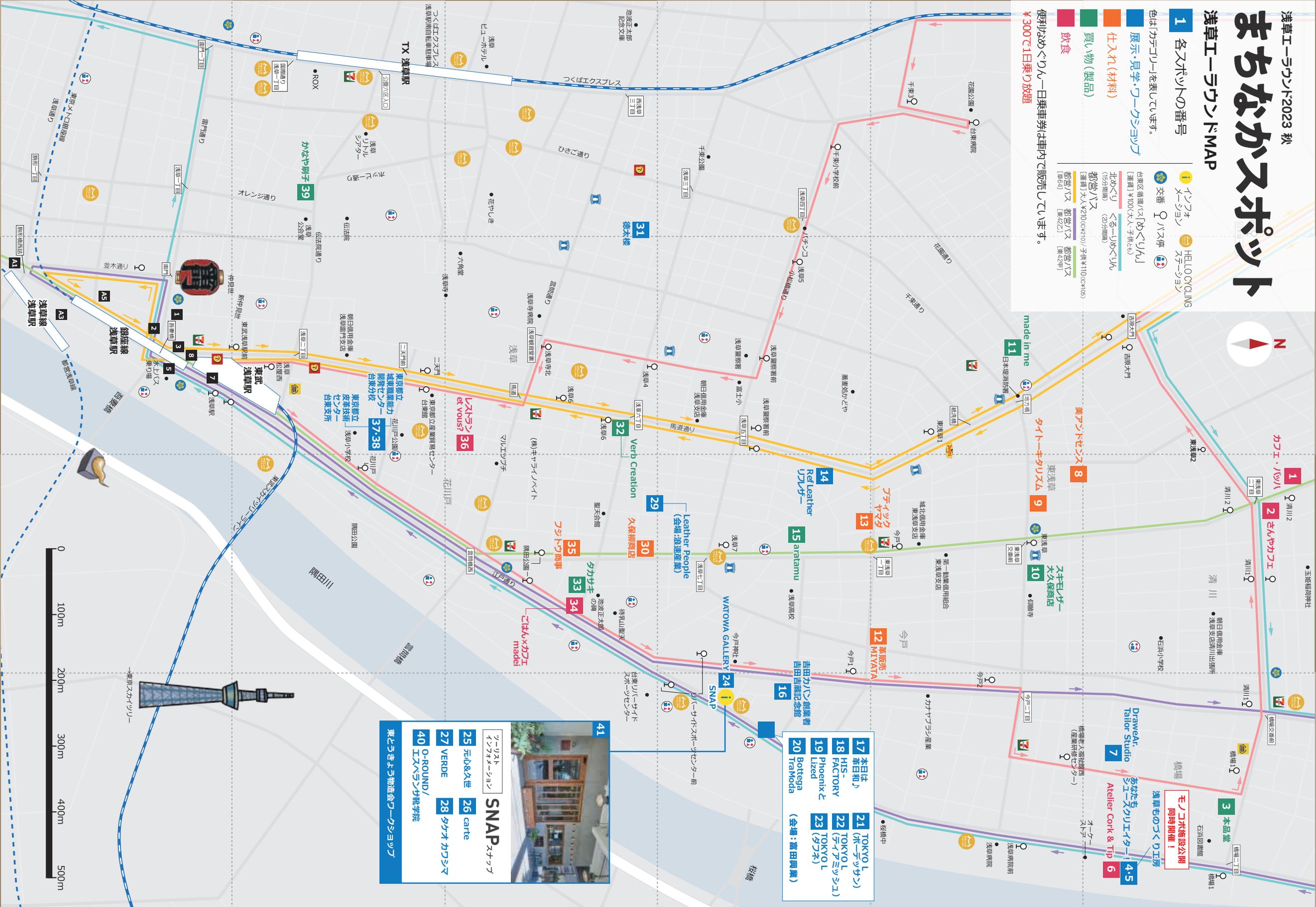
まちなかスポット

浅草エーラウンドMAP

- 1 各スポットの番号**
色は「カテゴリー」を表しています。
- 展示・見学・ワークショップ**
 - 仕入れ(材料)**
 - 買い物(製品)**
 - 飲食**

- インフォメーション** HELLO CYCLING
- バス停** ステーション
- 交番** 交番
- 台東区循環バス「めぐりん」**
[運賃] ¥100(大人・子供共々)
北めぐりん (5分間隔)
ぐるーりめぐりん (2分間隔)
- 都営バス**
[運賃] 大人 ¥210 (IC ¥210) / 子供 ¥110 (IC ¥105)
都営バス [東22] [都営バス [東64]都営バス [東22] [都営バス [東42甲]都営バス [東64]

便利なめぐりん一日乗車券は車内で販売しています。
¥300で1日乗り放題



17 本日は
18 HIS-
19 Phoenixと
20 Bottega
21 TOKYO L
22 TOKYO L
23 TOKYO L
(会場: 富田興業)

41
アーティスト
インフォメーション
SNAP スナップ
25 元心&久世
26 carte
27 VERDE
28 タケオ カカスマ
40 O-ROUND/
エスハラツチ靴学院
東とうきょう物産会ワークショップ



EXHIBITORS LIST 2023

EXHIBITORS LIST 2023 出店者リスト2023

100年級の老舗革問屋からパリ国際サロン賞・受賞アーティストまで。
浅草エラウンド2023秋を彩る出店者のプロフィールや
ワークショップ情報を一覧にして紹介させていただきます。

INFORMATION

📍 展示・見学・ワークショップ

🛒 仕入れ

🛒 買い物

🍴 飲食

📍 マップ上の位置

1 【カフェ・パッハ】 カフェ・パッハ



1968年に創業した自家焙煎の珈琲屋です。当店のモットーは「良いコーヒー」を作ることで、家庭内でのコーヒーの普及に努めています。ぜひお立ち寄りいただき、自家焙煎のコーヒーと自家製ケーキをお楽しみください！

📍 台東区日本堤1-23-9
☎ 03-3875-2669
🌐 <https://www.bach-kaffee.co.jp>
🕒 10/21.22(10:00~19:00)※金曜定休日

2 【サンヤカフェーキョー】 さんやカフェ | Sanya Cafe Tokyo



(一社)結YUIが運営するカフェは、多様性を考慮した山谷のまちづくりを目指しています。来年の再オープンをお楽しみに！軽食、セットメニュー、ケーキ、コーヒーなどをご用意しております。

📍 台東区清川2-15-3(ホテル寿陽1階)
☎ 080-3392-3080
📧 @sanya_yui
🕒 10/21.22(11:00~20:00)

3 【ポンピンドウ】 本品堂



「日本の伝統文様」をテーマにした型染めとデザインの工房。粋でかわいい縁起物を豊富に取り揃えております。さらに、工房公開限定の珍しいお品もお楽しみいただけます。ぜひ、お気軽にお越しください。

📍 台東区橋場1-34-2
☎ 03-5808-9770
🌐 <https://www.ponpindo.com>
🕒 10/20(11:00~18:00)21(10:00~18:00)22(10:00~17:00)

4 【アサクサモノツクリコボウ】 浅草ものづくり工房



浅草ものづくり工房は、若手職人を育成支援するための施設です。現在、8組のデザイナーが全国から集まり活動しています。開催期間中、アトリエ公開・販売会を行います。またワークショップ、フードカー、キッズスペースなど、様々な企画をご用意しています。※土日のみ開催

📍 台東区橋場1-36-2(台東区産業研修センター)
☎ 03-3872-6780
🌐 <https://monokobo9.com>
🕒 10/20.21.22(10:00~17:00)

5 【アナタモシューズクリエイター！】 あなたもシューズクリエイター！



靴作りの楽しさを伝えたくシューメーカー達によるユニットです。事前に革とサイズを選び、8時間かけて自分でスニーカーを制作します。予約制で、革を選び、型紙を使用して裁断し、穴あけから手縫いまで靴づくりを体験。革の魅力と職人の感覚を味わえる1日です。

📍 台東区橋場1-36-2
(台東区産業研修センター201号室)
📧 @youareshoescreator
🕒 10/20.21.22(9:00~17:00)

6 【アトリエコルクアンドチップ】 Atelier Cork & Tip



東京浅草でワインバーを営みながら、ワインのコルクで肖像画を描くコルクアーティストとして活動しています。アートと音楽、そしてワインが絶妙に融合したリラックス空間で、ぜひお寛ぎください。

📍 台東区橋場1-36-2
☎ 090-1851-7773
🌐 <https://corkart.thebase.in/>
🕒 10/20.21.22(11:00~22:00)

7 【ドローテイルースタジオ】 DraweAr. Tailor Studio



フルハンドメイドのスーツ製作を自社工房で行うBespoke Tailorです。他にも舞台衣装製作や洋服修理も承っています。工房見学やボタンホール穴かがり体験を行いますので是非ご見学にいらしてください。

📍 台東区橋場1-17-2
☎ 03-5808-9116
📧 @drawear_tailor_studio
🕒 10/20.21(9:00~18:00)

8 【ピアンドセンス】 株式会社美アンドセンス



靴と靴の金具やリボンを製造卸している当社では、お客様のご来店をお待ちしております。エラウンド開催の3日間は、一般のお客様にも販売いたします！

📍 台東区東浅草2-12-2
☎ 03-3876-1536
🌐 <http://b-sense.jp/>
🕒 10/20(9:30~18:00)21(10:00~17:00)22(10:00~14:00)

9 【タイトーキタリズム】 タイトーキタリズム



台東区北部地域の魅力をまるっとまるごとお届けします。地域密着型メディア「タイトーキタリズム」配布中！現在活動拠点である東浅草の「花はな」さんで今まで出会った方と一緒に花屋、本屋、ワークショップなどイベントを行います。

📍 台東区東浅草2-2-1
☎ 090-8345-8841
🌐 https://www.city.taito.lg.jp/kenchiku/machidukuri/chikumachizukuri/hokubu/renovetion_machi.html
🕒 10/20.21.22(11:00~17:00)

10 【スキモレザー オオクボショウテン】 スキモレザー 大久保商店



スキモレザーという技術で模様を創り出す革小物用素材を販売しています。素材を活かした小物も取り揃えており、革の濃き面でも独自の模様を形成し、革本来の風合いと調和させた新しい革素材を提供しています。お気軽にご覧ください。

📍 台東区清川1-5-4
☎ 03-3872-0181
🌐 <http://sukimoyou.la.coocan.jp/>
🕒 10/20.21.22(10:00~17:00)

11 【メイドインミー】 made in me



浅草の小さな靴工房で、「人とモノが繋がるモノづくり」をテーマに靴に関する活動を行っています。オーダー靴や靴製作のワークショップなど、靴愛好者に楽しい場所としてお越しいただけます。また、靴や革小物の販売もあります。

📍 台東区浅草5-60-8
☎ 090-5182-1699
🌐 <https://made-in-me.amebaownd.com/>
🕒 10/20.22(10:00~17:00)21(13:00~17:00)

12 【カワハンバイミヤタ】 革販売MIYATA



東京・浅草で1959年に創業した当店は、ライニングレザー(裏革)に特化した革問屋です。馬革、豚革、山羊革に特化した革販売店です。開催期間は、皮革商品をカット素材・型抜き素材など通常時より多く展示・販売します！

📍 台東区今戸2-11-2
☎ 03-3875-1700
🌐 <https://leather-miyata.jp/>
🕒 10/20.21(10:00~17:30)

13 【ブティックヤマダ】 (有)ブティックヤマダ



1974年創業の東浅草の皮革問屋。アパレル関連のお客様にトレンドを提案し、シーズンごとにオリジナルの天然皮革を提供しています。シーズン終了品や生産中止品をアウトレット価格で販売しています。

📍 台東区東浅草1-3-9
☎ 03-3874-9289
🌐 <https://b-yamada.jp/>
🕒 10/20.21.22(10:00~17:00)

14 【リフレザー】 RefLeather



老舗の革ジャケット専門店、カダヤがプロデュースする「RefLeather」は皮革専門のクリーニングサービスです。職人が1点ずつ手洗いする皮革専門クリーニングの奥深さをご覧ください。スポット出店や工場見学もあります。

📍 台東区浅草6-41-7(1F)
☎ 03-3871-2055
🌐 <https://ref-leather.square.site/>
🕒 10/20.21.22(9:30~18:00)

15 【アラタム】 aratamu



全国のクリエイターたちのアイテムを揃えたセレクトショップ。靴を中心に革小物やアクセサリー、植物と相性の良いインテリアアイテムなどを取り揃え、定期的にワークショップも開催しています。

📍 台東区東浅草1-1-5(北山ビル1階)
☎ 03-5603-5876
🌐 <https://aratamutokyo.studio.site/>
🕒 10/20.21.22(11:00~18:00)

16 【ヨシダキチゾウキネンカン】
吉田カバン創業者 吉田吉蔵記念館



吉田カバン創業者・吉田吉蔵が、晩年、自身の作品作りに励んだこの場所にアトリエを再現しました。吉蔵が修行時代に培った技術で製作した手縫いカバンも展示しています。

📍 台東区今戸1-4-7
☎ 03-3876-4655
🕒 10/20.21.22(11:00~17:00)

17 【ホンジツハカワビヨリ】
今日は革日和♪



大阪在住の革に関する仕事をする請負職人です。当日は映画上映やセミナーを開催します。映画「ある精肉店のはなし」の上映と、様々な革に関するセミナーを予定しています。

📍 台東区今戸1-3-12 トミタビル(上映会場)
☎ 070-5040-6433 ※セミナー・映画中はTEL出れません
🌐 <https://ccrui.sakura.ne.jp/kawabiyori/>
🕒 10/20.21.22(10:00~18:00)

18 【ヒスファクトリー】
HIS-FACTORY



墨田区吾妻橋にある当工房では、オリジナルのレザー鞆、財布、小物類を企画し、製作しております。2階のショップにて、これらの製品を販売しております。当日は手縫いで作る イタリアンレザー(ゴースト)のサコッシュのワークショップを開催します。

📍 台東区今戸1-3-12 トミタビル2F(開催場所)
墨田区吾妻橋1-16-5(工房ショップ)
☎ 03-5619-1602
🌐 <https://his-factory.com/>
🕒 10/20.21(10:00~18:00)

28 【タケオカワシマ】
タケオ カワシマ



開催期間中はエリア内でウロウロしているので、見つけたら声をかけてみてください。何かもらえるかも？

📍 台東区今戸1-2-10(JKビル1F)
☎ 090-3475-6160
🕒 10/20.21.22(10:00~18:00)

29 【レザーピープル】
Leather People_



ポーチ、サコッシュバック、ベルトなどのアイテムをパーツ単位で選んで、その場で仕立てるワークショップです。組み合わせいろいろ、自分だけのオリジナルを作りに来てください。

📍 台東区浅草6-25-12
☎ 03-3873-7281
🕒 10/21.22(10:00~18:00)

30 【クボリュウショウテン】
久保柳商店



創業80年以上の歴史を持つ株式会社久保柳商店は、浅草の「革の街」に位置し、天然皮革の卸事業を展開しています。常時1,000枚以上、13,000枚の在庫を保有し、1枚から販売可能。革製品と革小物も取り扱っています。

📍 台東区浅草6-22-14
☎ 03-3874-9161
🕒 10/20.21.22(10:00~17:00)
※最終日16:00

19 【フェニックストリゼッド】
PhoenixとLized



Phoenixはレザークラフト用品の総合店です。革、金具、工具など、レザークラフトに必要なアイテムを取り揃えています。ワークショップの「彩り靴」は、革の染色体験と靴作り(要予約)を楽しむことができます。

📍 台東区今戸1-3-12 トミタビル2F
☎ 080-4828-9012
🌐 <https://phoenix-shop.jp/>
🕒 10/20.21.22(10:00~17:00)

20 【ボッテガトラモダ】
Bottega TraModa



ヨーロッパ仕込みの靴職人2人による注文靴&靴作り教室。Bespokeがメインながら、カラーオーダーや小物やバッグなども受注可能。WSは靴作り3種。さあ、あなたはどれにチャレンジする?!

📍 台東区今戸1-3-12 トミタビル2F
☎ 004-4573-2281
🌐 <https://botteгатramoda.simdif.com>
🕒 10/20.21.22(10:00~18:00)
※席を外す場合あり

24 【ワトワギャラリー/ザボックス トーキョー】
WATOWA GALLERY / THE BOX TOKYO



WATOWA GALLERYは、アート・コミュニケーションの場を提供するアートプロジェクト/プロデュース集団です。エーラウンド期間中は、作家buggyによる新作個展「なぜ私は他の誰かではなく、私なのか?」を開催いたします。

📍 台東区今戸1-2-10(JKビル3F)
☎ 070-8560-6104
🌐 <http://watowagallery.com/>
🕒 10/14.15(10:00~18:00)

31 【トクタルウ】
徳太樓



創業明治36年、奥浅草にある和菓子店、徳太樓です。四季折々の和菓子を取り揃えています。お客様に喜ばれるような、和菓子作りを心がけています。

📍 台東区浅草3-36-2
☎ 03-3874-4073
🌐 <https://tokutarou.net/>
🕒 10/21(10:00~17:00)

32 【ヴァーブクリエーション】
(株)Verb Creation



東京浅草で靴を製造・販売する(株)Verb Creation、目の行き届いた国内生産にこだわってグッドイヤーウェルテッド製法からスニーカーまで様々なニーズに合った靴作りを行っています。今回は浅草6丁目目差点前、本社1階にてsample・B品saleを開催!!

📍 台東区浅草6-13-5
☎ 03-3872-5715
🌐 @verbcreation
🕒 10/20.21(10:00~17:00)

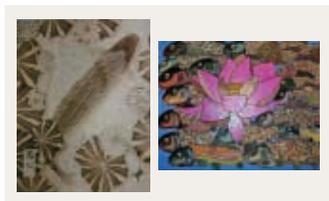
33 【タカサキ】
タカサキ



ハンドバッグ、小物、ベルト、鞆などの皮革素材を取り扱っており、小物を中心にアウトレット価格で販売しています。また、牛革や豚革を使用したアニマルクラフトもご提供しております。

📍 台東区浅草7-3-10
☎ 03-3876-3551
🕒 10/21.22(10:00~16:00)

25 【ゲンシンアンドヒサヨ】
元心&久世



「サロン・ド・トルネ」の入選画家、唯一無二の革の焼き絵を得意とする「元心」と、佐賀錦をちりばめた独創的な絵画の「上田久世」。二名ともパリ国際サン賞を受賞しました。作品鑑賞や革の焼き絵体験を楽しめます。

📍 台東区今戸1-2-10(JKビル1F)
☎ 080-1194-0748
🌐 <https://cafeparle.studio.site>
🕒 10/20.21.22(10:00~18:00)

26 【カルテ】
carte



昨年7月から浅草で新たに設立された株式会社SPICE。通常は皮革袋物のOEM業務を担当し、お客様のニーズにお応えしています。さらに、当社オリジナルブランドの皮革製品(財布など)の販売も開始し、初の出店となります。

📍 台東区今戸1-2-10(JKビル1F)
☎ 03-5808-9435
🌐 carte-spice.com
🕒 10/20.21.22(10:00~18:00)

27 【ヴェルデ】
VERDE



個性的で天然の柔らかさと香りを持つオーストラリアアブリザードフラワーを直輸入し、花束・スワッグ・リースなどの販売やワークショップを開催しています。お水の必要無い状態に加工し個性的な形や天然の爽やかな香りが魅力。

📍 台東区今戸1-2-10(JKビル1F)
☎ 03-5261-2466
🌐 <https://verdeweb.jp>
🕒 10/20.21.22(11:00~17:00)

34 【ゴハン×カフェ マデイ】
ごはん×カフェ madei



浅草・待乳山聖天の向いにある小さなごはんカフェです。主菜だけでなく副菜も充実した定食やお弁当の他、あんみつなど和洋甘味を提供しています。日々の生活がちょっと楽しくなるような、ていねいな商品づくりやサービスをこころがけています。お気軽にお立ち寄りください。

📍 台東区浅草7-3-12(テイビル聖天1F)
☎ 03-6802-4590
🌐 www.madeigohan.com
🕒 10/20.21.22(11:30~18:00)

35 【フジトウショウジ】
フジトウ商事(株)



創業百年の歴史を持つ革の卸問屋。当店の1階は店舗となり、学生の方やレザークラフトが趣味の皆様、大歓迎です。幅広い種類の皮革を販売し、クラフトや製作に必要な素材が充実しています。どうぞお気軽にお立ち寄りください。

📍 台東区浅草6-21-12
☎ 03-3872-1131
🌐 <https://www.fujitou.jp>
🕒 10/20(9:30~17:30)21(10:00~17:00)

36 【エグ】
et vous? Life food restaurant



『食べてキレイになる』をコンセプトに、体に優しく人生を豊かにしてくれる料理を提供。家族が笑顔で過ごせるよう心を込めてお料理しています。2年連続で日本一の焼き芋を販売しています(冷凍品もあります)。お土産にぜひどうぞ。

📍 台東区花川戸2-9-11
☎ 03-6796-7601
🌐 <https://www.et-vous.net>
🕒 10/20.22(10:00~18:00)

37 【ジョイントシューズ/カウチン/ハイソックス/タイツ/ソックス】 B2
東京都立城東職業能力開発センター-台東分校



「台東分校製くつ科」は靴づくりを学べる日本唯一の公共職業訓練施設です。1年間で革靴製造の知識・技術を学びます。台東支所と台東分校の見学を10時、11時、15時30分の計3回実施します。

📍 台東区花川戸1-14-16(3F)
 ☎ 03-3843-5911
 🌐 <https://www.hataraku.metro.tokyo.lg.jp/vsdc/taidou/>
 🕒 10/20(10:00~16:30)

38 【ヒカクジツセンター-タイツ/ソックス】 B2
東京都立皮革技術センター-台東支所



国内唯一の靴の公的試験研究機関で、技術向上を目指し、試験・研究・指導・情報提供を行い産業振興に貢献しています。試験室及び台東分校製くつ科の施設見学は、10時、11時、15時半の計3回。かわとはきものギャラリーは常時見学できます。

📍 台東区花川戸1-14-16
 ☎ 03-3843-5912
 🌐 <https://www.hikaku.metro.tokyo.lg.jp/>
 🕒 10/20(10:00~16:30)

39 【カナヤブラシ デンポウインドオリテン】 A2
かなや刷子 伝法院通り店



店舗では各種ブラシや刷毛を販売しております。オリジナルブラシのご注文は、平日本社で対応させていただきます。また、当店1番人気の馬毛歯ブラシを是非ご覧ください!!

📍 台東区浅草1-39-10
 ☎ 03-3841-8848
 🌐 <https://www.kanaya-brush.com/>
 🕒 10/20.21.22(10:30~17:00)

40 【オーラウンド/エスペランサツグクイン】 D4
O-ROUND/エスペランサ靴学院



エスペランサ靴学院は、日本で一番古い靴の学校です。1年で靴を学ぶ本コースから、1日で靴を作って持って帰れる体験講座まで実施中。2021年より大阪に移転しているエスペランサ靴学院。今回は、浅草に凱旋展示!

📍 台東区今戸1-2-10 (JKビル1F)
 ☎ 06-6562-0410
 🌐 <https://shoeschool.jp>
 🕒 10/21.22(10:00~18:00)

41 【スナップ】 D4
SNAP



奥浅草をめぐる旅の出発地であるSNAPでは作品の展示やワークショップを開催します。また併設のカフェではおいしい焼き菓子やドリンクを提供しております。お気軽に遊びに来てください。

📍 台東区今戸1-2-10(JKビル1F)
 ☎ 03-6802-4788
 📷 @snap_okuasakusa
 🕒 10/20.21.22(10:00~18:00)

EXHIBITORS LIST
 2023

歴史があるまちは
 古いのか。

「浅草はモダニズムの街である」とある文化人類学者はいます。東京の土地はそのむかし、縄文時代の東京湾が入り組んだ地形の影響で、起伏がとても激しいのです。しかしその中で、浅草の土地はとても平坦。だからこの街はフラットで自由な風土とともに築かれていったのだそうです。そんな浅草の「今とこれから」についてご案内します。

TOKYO LEATHER LINKは、
 革のモノづくりをサポートします

革を素材に何かプロダクトをつくる時にどこに相談に行けばよいかかわからない、という声を多く聞きます。

TOKYO LEATHER LINK(通称TOKYO L)が窓口になり、革の聖地浅草から最適な技や革素材をプロデュースします。現在、皮革関連の営業・メーカー・資材・職人・企画・デザインなどモノづくりの仲間を募集です。また、同会場では皮革・革製品などのサステナビリティを発信していくプロジェクトである「シンキングレザーアクション(TLA 詳細P09)」のコーナーも設けられます。

📍 台東区今戸1-3-12 (富田興業株式会社 2F)
 ※各社の住所表記は本社所在地につき
 当日は富田興業2Fが開催場所となります。

21 【ボーデッサン トーキョーエル】
ボーデッサン(TOKYO L)

1979年台東区今戸にて創業。40年以上にわたりの地で、自社ブランドの鞆、袋物、革小物の製造と卸しをしております。革にこだわり時代に流されず、長く使って頂ける商品をお客様にお届けしております。



📍 台東区今戸1-23-11
 ☎ 03-3875-7882
 🌐 <https://beau-dessin.com/>
 🕒 10/20.21.22(10:00~18:00)

22 【ティ.アミッシュ トーキョーエル】
ティ.アミッシュ(TOKYO L)

「皮革への目利き」を強みに製品開発を行うメーカー。モノづくりに携わる全てに感謝しながら、「作り手」から「使い手」へ物語と笑顔を伝えている。今回のテーマは「こんなもまで革で作ってみました。です。」



📍 東京都台東区今戸1-3-12
 ☎ 03-5603-7122
 📷 @t.amish.asakusa
 🕒 10/20.21.22(10:00~18:00)

23 【ダフネ トーキョーエル】
ダフネ(TOKYO L)

国内外タンナーの革を厳選し、お客様が求める最高の1本を目指してひび精進し続けるベルトメーカー。革を大切に使うことにも力を入れている。



📍 台東区鳥越1-30-8-401
 ☎ 03-5846-9955
 🌐 <https://daphne2004.amebaownd.com/>
 🕒 10/20.21.22(10:00~18:00)



富田興業株式会社 代表取締役
富田 常一 TSUNEKAZU TOMITA

株式会社クオーターバック 代表取締役
山田 裕一 YUICHI YAMADA

ASAKUSA NOW & THEN

浅草のものづくりのこれからを考える

今年で開催10年目の節目を迎えた浅草エーラウンド。

その発起人のうちのひとりで、

浅草で大正時代から皮革卸売業を続けてきた会社、「富田興業株式会社」の富田常一。

そしてこのまちに引き寄せられ、2年前に会社ごと浅草入りした、

ブランディングデザインカンパニー「株式会社クオーターバック」の山田裕一。

この2人が、「浅草のものづくり」というテーマのもと対談を行いました。



富田もメンバーの一員である「TOKYO L」はエーラウンドのプロジェクトの一つとして発足した皮革製品の製品化を前提としたプロトタイプを開発・製作するレーベル。

西から東へ、アップデートされるクリエイティブの在り方

山田 僕はデザインなどクリエイティブの業界で20年くらい仕事をしてきているのですが、最近クリエイティブの在り方がアップデートされていると思うんです。この間見かけたのは、やせ細って商品にできない木を活用したプロダクト。例えば森林の荒廃のような、日本各地にたくさんある課題を、ものづくりで解決するアクションがすごく増えているなど。説教臭くもならない社会課題解決を説教臭くなく表現する、クールに解決することは、これからとても重要だと思っています。

ところで今の浅草って雷門など観光地的なイメージがものづくりよりも先行していると思うんですけど、富田さんが幼少期の頃の浅草はどのような街でしたか？

富田 私が浅草に住み始めたのは10歳くらいのときなんですけど、当時の浅草では靴職人のおやっさんが夕方くらいに仕事をひと段落させて、縁側で将棋やキャッチボールをしていました。まさに昭和の原風景ですよ。街では朝の3時や4時から裁

断機のカシャンという音が聞こえてきましたし、職人さんたちは歩合制なのでとにかく仕事をたくさんしていた印象があります。私の通っていた小学校では、クラスの半分以上の子がいわゆる革産業従事者の家庭でした。当時は日本中の革靴のうちの最低でも8割以上はこのエリアと隣接市で作られていたと思います。昭和の後半か平成の頭から、もともと靴製造のノウハウがあった神戸や海外での生産も増えてきて、浅草だけとは限らないようになってきました。

山田 なるほど。そんななか今でも残っているのは、大量生産というよりは、少量でしっかりと作るような職人さんが多いような気がします。このエリアのものづくりのDNAといえますか、手の込んだ、材料もいものを使って作られたものが多い。さらに平成後期くらいになって「ものづくり」という、より広いジャンルの職人やアーティストも徐々に浅草に移転してきていますよね。たとえばオリンピックにも関わったエ

山田 まず最初に、富田さんが革の業界に入るまでのあらすじをお聞かしてもよろしいでしょうか？以前どこかの記事で拝見したのですが、最初は異業種で営業の仕事がされていたんですよね。

富田 そうですね。私はもうずっと営業職をやっている、革の業界に入る前はコンピュータのメーカーにいました。入社して「大阪に赴任したい奴はいるか？」と言われたときすぐに手を挙げ、大阪でコトコテの営業として、ビジネスの世界との関わり方を学びました。企業でコンピュータなどを導入するとき、決定するのは基本的に経営者クラスの人ですよ。なので相手方のビジネスの話を聞いて、それに対して業務改善などの提案をしていました。メーカーの営業といっても、モノよりコトを売る仕事でしたね。

山田 なるほど。つまりその頃から「売るものの特性を活かして課題を解決する」というやり方を培われていったんですね。そしてそれを革の営業にも活かしてきたと。革の業界に入られたのは何歳のときですか？

富田 今から30年くらい前…26、7歳のときですね。社会に出て数年経った頃に、うちの会社の

2代目である祖父が亡くなりました。そのときにハッと自分の状況を見つめ直して、家業やその従業員の人のことなど、そろそろ考えないといけない時期だと思って、富田興業に入社しました。1994年のことだったと思います。

山田 その頃は、まさにパソコンが世界に知れ渡った時代ですよ。ハイテクノロジーの業界から、いわゆるレガシーという古くからある業界へ入ることに対して、ギャップなどは感じなかったのでしょうか？

富田 あまり感じなかったですね。前職もハイテク業界とはいえ、スマホのようなハードを売るというより、ビジネスのソリューションとして提案していたので。扱うものが野菜や車であろうと革であろうと、本質はあまり変わらないと思います。

でも革の魅力は表現の幅にあります。男っぽいゴツイ革もあれば、しなやかで女性らしいフェミニンな革もある。あとはやっぱり革は生き物であり、肌だということ。動物としては頑張っても数十年で命が終わるけど、その後、革としてはまた100年でも生き続ける。私はそこにロマンを感じています。



ンジニア集団や、プールやうどんのような日常の昔からあるものに新しい風を吹き込むクリエイターたち。ここ数年で、新しいキャラクターたちがどんどん周辺に集まってきている気がします。

ほかにもエーラウンドのエリアではないですが「コーヒーカウンター ニシヤ」さんは、渋谷でいつも大行列ができていたなかで突然お店を閉め、浅草の寿4丁目に引っ越して来られましたよね。その理由としては行列で近隣の方に迷惑をかけてしまったり、一人ひとりにしっかりサービスができなくなり、コーヒーにかける思いが渋谷では表現できなくなったからだ。

これまではクリエイティブやファッションという、渋谷など西東京のイメージがありましたが、こだわりを持つ人がどんどん東東京に移動してきてますよね。20年前に日本橋の東エリアで大きなアートイベントが始まり、そのあと清澄白河に現代美術館ができて、蔵前辺りの盛り上がりは10数年前からですかね。そういった流れがどんどん北上して、浅草北部にもクリエイターが集まってきていて、まだまだ数としては足りないかもしれないけど、今浅草には、確実にいい波が来ていると思います。



これからの浅草のものづくりに必要なこと

山田 僕はこの街にさらに新たなプレイヤーたちが集まってくれたら面白いな、なんて思っているのですが、これからの浅草のものづくりの在り方について、幼少期から浅草にいる富田さんの視点ではどんな要素が必要だと思いますか？

富田 魅力あるプレイヤーたちが集まって、そしてそれぞれが街の魅力に対して自覚的であることが大事だと思います。みんなで浅草をいまいちにしていきたいですね。一方で、インバウンド・観光というものも必ず重要になってくると思います。浅草は今浅草寺があって雷門があってというような観光地の在り方ですが、さらにその奥にある、職人や工房のある浅草の姿を発見してもらえるような形で発展させていきたいです。たとえば普段はクロードな工場が実は一流ブランドの製品制作を担っているような場所で、一般の人がそこで、何か自分なりのものづくりを体験できるような施策とか。

山田 なるほど。たしかに観光地でただ土産物を買うだけの体験って、あまり記憶に残らないですよね。自分も少し作り手に加わることができる

と、体験価値や思い出がもっと深まりそうです。ものづくりのプロセスに一般の人の関わりしろが作れる場所を浅草のまちにいくつか散りばめる、みたいなことも想像できますね。

富田 そのテーマでいうと、エーラウンドをやってきたなかでひとつ気づきがありました。普段ひょっとしたら半年間くらい誰とも喋らず黙々とやってる職人さんが、エーラウンドで工房見学に来た人に対して目を輝かせて話してくれるんですよ。それこそ僕らが営業的に喋るなら2、3分にとまめるような話を、30分も話し続けてくれたり。それに対して受け手側も、「ああそうなんですか、こんな奥深いことがあるんだ」と感動していました。そうすると職人さんも「自分たちが何でもないようにやってることでも、こんなに共感してもらえるんだ」と気がつく。双方にとってすごくいいことが起きていたように思います。当たり前のことですが、プレイヤーが輝いていないと訪れる人も楽しくないですよね。そもそも「A-ROUND」のAは、職人を意味する「Artisan」の頭文字からきていますし。



浅草ものづくり工房はものづくりを担う事業者を育成する施設として、入居者の自立支援を行うとともに地域との連携・交流を図っています。

山田 僕は2年前に浅草に来て、このまちにすごく「人間っぽさ」を感じています。飲食でいえばチェーン店のようなコピーされたものがほとんどない。家族経営のお店も多いから行くたびに同じ人がいて、たまに店の都合で休んでたりしますよね。渋谷なんかのお店だとWebサイトに載ってる日は大抵開いていることが多いですが、こっちだと営業日として掲載されている日も閉まっていたり(笑)。人間なんだから、色んな事情があって必ずお店を開けられるわけではないですし、実はそのほうが人間っぽくないかなと。僕はわりと温室育ちだったので、例えば町中華のお店も以前は入るのに抵抗があったんですが、今は休みに食べに行って、ホクホクで自転車立ちこぎで帰ったり(笑)。人間ぽさを取り戻しているな、と思います。

つまり、心を取り戻しながら創造性を発揮できることが、この街の良さだと僕は思うんですよね。取引はインターネットでできるので、特別な話だけ



奥浅草 NEW WAVES

奥浅草の新しいムーブメントを発信する5人のチャレンジャーたちをご紹介します。



アートがライフスタイルに溶け込む社会を拓く

WATOWA GALLERYは、アート・コミュニケーションの場を提供するアートプロジェクト/プロデュース集団。アートがファッションのように親しめるカルチャーとなり、ライフスタイルに溶け込む社会を拓くため、アートプロジェクトのプロデュースや演出を行っている。

小松 隆宏

WATOWA INC.代表
こまつ・たかひろ | ファッション、アート、自然を横断し、「輪と輪をつなぐ」(現象、PR、イベント)を演出・制作するクリエイティブ・プロダクション WATOWA INC.を運営。



分野を横断するファッションの祭典

NEW ENERGY(ニューエナジー)は、ファッション、ライフスタイル、ビューティー、フード、アート等、各分野のクリエイターや企業が集結する祭典。2022年よりスタートし、各回250組のクリエイターと1万人の来場者が集まる。



タイムレスな魅力を持つ革製品を奥浅草から発信

「アラタム」は、奥浅草に根付いた革産業とクリエイターたちのタイムレスなデザインをアトスペースのように紹介するコンセプトショップ。すでに拠点を持っている方からクリエイターの卵まで、日本各地で活動する作家の作品を厳選して展示販売を行っている。

手島 喬之

デザインテーブルコム代表
てしま・たかゆき | デザイン、靴型、パターン、サンプル開発等の商品企画・開発を行い、革靴に携わる全工程を担う、新しい形のプロセスを提案。また、販売戦略やゼロからのブランディングも行う。



伝統的な縁起柄を活かした生活雑貨工房

日本の伝統文様をテーマにした東京・浅草の生活雑貨工房「本品堂」。工房の名前には、「日本(ニッポン)の逸品(イッピン)」という意味が込められている。守袋から座布団まで、伝統的な縁起柄を活かしたモダンなデザインの製品を現代の暮らしの中で発信し続けている。



石塚 杏梨

NEW ENERGY (Blue Marble) プロデューサー/
浅草ものづくり工房
インキュベーションマネージャー

いしづか・あんり | ファッション・マーチャンダイジングを学んだ後アッシュ・ペー・フランス(株)入社。合同展示会roomsのディレクターを15年間担当し、2021年からBlue Marble発足。

大野 耕作 工藤 資子

デザイナー/「更紗」5代目
おおの・こうさく/くどう・もとこ | 伝統紋様を愛するデザイナー大野氏と、創業約150年の江戸型染めの老舗染め屋「更紗(サラクイ)」5代目の工藤氏の共同で、2002年より「本品堂」を運営。



浅草エーラウンド2023秋

TOKYO DEEP CULTURE

経済産業省 令和5年度
皮革産業振興対策事業費補助金対象事業

主催 エーラウンド実行委員会

後援 台東区、東京商工会議所台東支部

協賛 朝日信用金庫、
城北信用金庫、第一勧業信用組合、
東京都立産業貿易センター台東館、
ASAKUSA MONOKOBO OB会

協力 東京都立城東職業能力開発センター台東分校、
東京都立皮革技術センター台東支所、
東京都立皮革技術センター(墨田区)、
O-ROUND、浅草ものづくり工房、
有限会社T.M.Y' S、長坂染革株式会社、
東とうきょう物造会、シューフィル、
東京皮革青年会

エーラウンド発起人

富田常一・今村ひろゆき・長坂守康・
川島武雄・城一生・本間康之・藤原仁・
武田和芳・徳永勝也・河原勢朗・上原一男

エーラウンド実行委員会

実行委員長：富田常一
シーズンディレクター：山田裕一
企画制作進行管理：
株式会社クォーターバック、
安倍啓輔、はぎもとゆう
SNS運用：本間康之・片岡清高・山崎美穂・山崎星来
写真：石橋俊治
ツアー企画：長坂守康、嶋村眞佐子、柴田政男

ご協力いただいた方々

エーラウンドサポーターのみなさん、
出店者のみなさん

ガイドブック制作

quarterback Inc.
チーフエディター：シバタロマン
エディター：本木翔子、川口久美子、松井稜弥
デザイナー：高井洋介、鍵田佳小里、斉藤静夏



時代をつなぐ、 想いをつなぐ。

おかげさまで100周年 このまちとともに輝く未来へ

街の鼓動に敏感です
朝日信用金庫 <https://www.asahi-shinkin.co.jp/>

夢をかなえるパートナー
城北信用金庫
Johoku Shinkin

東浅草支店

〒111-0025 東京都台東区東浅草1-8-12
☎ 03-3872-6165

ASAKUSA MONOKOBO OB会↑

10/20 ~ 22 OBによる販売&ワークショップ開催！



エーラウンドに来たならば
『浅草ものづくり工房』
にもお越しください！

浅草ものづくり工房卒業生

OB&現役
懇親会開催！

10/22(日)19:00~
場所:Cork & Tip

想いを形に 皆さまとともに

DKC 第一勧業信用組合
東浅草支店

〒111-0024 台東区今戸2-15-4 (今戸バス停前)
TEL 03(3876)0241
URL <https://www.daiichikanshin.com/>

10th ANNIVERS